

■雪中行軍に学ぶ寒さ対策

今から115年前の1902年、帝国陸軍は、対ロシア戦を想定し、厳冬期の八甲田山の雪中行軍を計画。青森からは、歩兵第5連隊210名が、弘前からは、歩兵第31連隊37名が参加した。青森隊は地元民の協力を断り、地図とコンパス、夏用の軍靴と軽装備であった。一方、弘前隊は、きこり、マタギなど山のプロから、足の指を油紙で巻き、唐辛子をまぶし、靴下を3枚履くことなどを情報収集し、同行を依頼した。

結果は、青森隊は生存者11名。弘前隊は全員無事生還という大きな差が出た。

寒さ対策は、現代にも通用するものがあります。凍瘡(しもやけ)の改善のために、唐辛子とショウガを含んだ当帰四逆加呉茱萸生姜湯(とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう)を処方します。寒さ厳しき折柄、ご自愛くださいませ。

平成27年2月分

NAVI通信原稿

はらクリニック 原 徹